

令和5年度 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施（実績報告）

【目的】高齢者の特性に応じた生活習慣病重症化予防・フレイル予防により、社会保障費の適正化を図るとともに、健康寿命の延伸を目指します。

1 健康課題の分析

2 高齢者の心身の特性に応じた保健事業

A 千曲市の実態

(1) 社会保障費

		R4	R5	伸び率
後期	総医療費(円)	95.6億	98.9億	1.03
	加入者数(人)	10,984	11,292	1.03
	一人当たり医療費(円)	87.0万	87.6万	—

事務報告書

(2) 医療受診状況(後期)

① R5 医療費割合

	件数(%)	費用額(%)
入院	4.2	50.8
外来	95.8	49.2

KDB E表2次加工 後期高齢者の入外別
レセプト件数と費用額の割合より

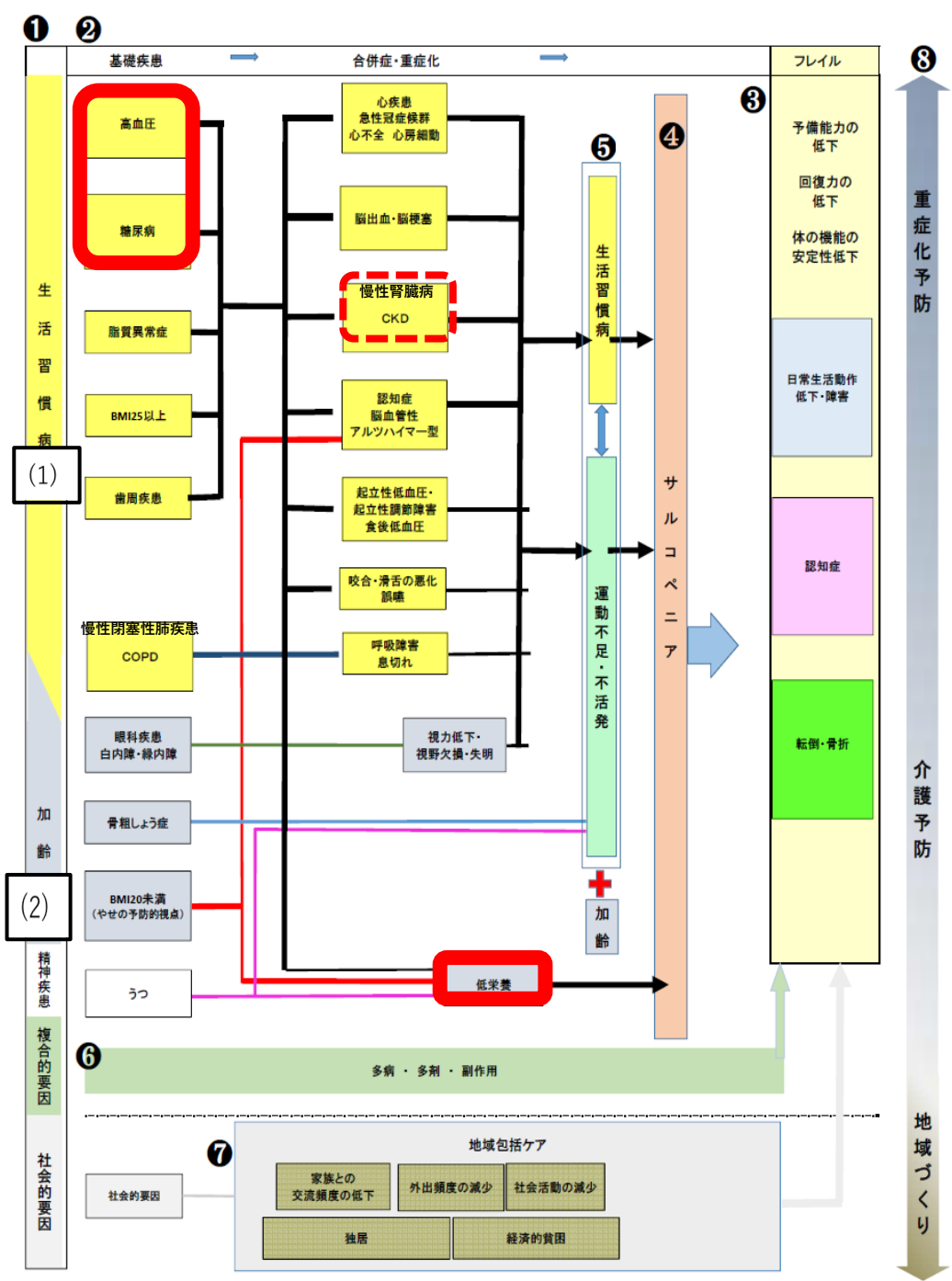
② R5 医療費別入院医療費割合(一部抜粋)

項目		R5	
		割合(%)	
基礎疾患	高血圧症	0.2	0.9
	糖尿病	0.6	
	脂質異常症	0.1	
重症化	脳梗塞・脳出血	8.3	22.3
	虚血性心疾患	2.5	
	その他の心疾患(心不全)	8.0	
	腎不全	3.5	
フレイル	認知症	0.9	21.7
	筋・骨格	20.8	

KDB 様式5-1地域課題の把握より

B フレイルの予防を考える【フレイルのメカニズム】

- (1) 生活習慣病等の重症化を予防する取組
(2) 生活機能の低下を防止する取組



C 保健事業と介護予防の一体的実施(実績報告)

(1)ハイリスクアプローチ

①目的方法

疾病予防・重症化予防を目的に後期高齢者健診、ドック受診者より対象者を抽出し、訪問等で保健指導を行う。

②R5 結果

	受診人数(人)	
後期高齢者健診	163	(R4より24人増加)
人間ドック	549	(R4より133人増加)

	訪問実施人数(人)
CKD・糖尿病性腎症重症化予防	13
高血圧症重症化予防	17
健康状態不明者への支援	53

(2)ポピュレーションアプローチ

①目的方法

フレイルに対する関心を高め生活改善を促すために、通いの場等において高齢者の質問票を活用し、健康教育を行う。

②結果

<元気なつどい参加者(更埴会場)(戸倉上山田会場)に向けて実施>
・保健師による健康講話(フレイル予防について、高齢者の質問票の実施)延べ111人
・管理栄養士による健康講話(フレイルと食事のポイント)延べ52人
・歯科衛生士による健康講話(歯周病と全身疾患)延べ53人
※高齢者の質問票(延べ111人)の結果を踏まえ、その内7人には訪問実施。個別支援に繋いだ。